

2013年3月18日

## 「STRUM工法」で地下化切替工事完了

3月15日深夜、東急東横線渋谷～代官山駅間地下化事業における代官山駅付近において、地上の営業線路と地下に構築した新たな線路を繋ぐ大規模な切替工事を実施致しました。

東横線と副都心線の相互直通運転に伴う東横線渋谷駅から代官山駅間の地下化事業で、東急建設が担当する第3工区は、代官山駅終点部から渋谷1号踏切付近までの地下化への取付け口区間で線路切替のハイライト部分です。現場周辺は道路・民家・商業ビル等が近接し、仮設線路を敷設する用地が確保できないため、切替工事には『STRUM工法』を採用。

当夜作業は、工事桁化した既存線路を工区内に仮設した門構とセンターホールジャッキで扛上（一部はクレーンで撤去）し、これを工事桁で仮受、既存の線路の真下に敷設された新たな軌道へ切り替えました。また、ホーム部では既存線路をジャッキで降下して新設の軌道に繋げ、さらに、仮設ホームを撤去して新設のホームへ切替えました。

15日終電から16日初電までの限られた時間内に、既存線路の扛上・降下・撤去、ホームのほぼ全てを切替える作業が同時に進行致しましたが、『STRUM工法』を駆使した土木工事は順調に進み予定時間内に無事完了。保線軌道工・電気工の作業へと引き継ぎました。

## 【工事概要】

工事名称 : (13号相直) 東横線渋谷～代官山間地下化工事 (土木工事第3工区)

建築主 : 東京急行電鉄株式会社

工事場所 : 東京都渋谷区代官山町18、19番地外

工期 : 2005年1月～2015年3月

工事概要 : U型擁壁築造と代官山駅のホーム改築および『STRUM工法（仮線を設けずに営業線の直下又は直上に一夜（終電～初電）にして線路を切替える技術）』を駆使した線路切替。

施工延長=273.8m 桁扛上区間L=68.0m 当夜クレーン撤去区間L=71.2m

桁降下区間L=76.0m 砂利降下区間L=58.1m 乗降ホーム切替え一式

施工 : 東急建設株式会社



<本件に関するお問い合わせ>

管理本部 経営企画部 広報グループ 小川

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: [webmaster@tokyu-cnst.co.jp](mailto:webmaster@tokyu-cnst.co.jp)